



町に関する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。

町民みんなが健康になりますように

ましき元気サポーター養成講座 終了報告

町を日々の運動習慣で活性化するため、ましき元気サポーター養成講座を1月に実施しました。同サポーターは、町民の健康づくりを目的とした地域の自主的な運動を支えるボランティアメンバーです。

講座では、熊本大学の都竹茂樹教授(医学博士)の指導で、運動・栄養・運動教室の運営について学びました。

都竹先生考案の「4 Uメソッド」(スロー筋トレ)を導入した運動教室を行っています。お気軽にお問い合わせください。 閩保健福祉センターはびねす ☎ 234-6123



講座受講者で都竹先生を囲んで記念撮影



ストーマ装具を保管するロッカー

災害時に備える新たな事業

ストーマ(人工肛門・膀胱)装具保管事業説明会

町は、県内初となるストーマ装具保管事業を開始し、1月23日と28日、対象者への説明会を行いました。

この事業では、町が交流情報センターと保健福祉センター内にロッカーを設置。オストメイト(人工肛門・膀胱造設者)は、そこに装具を保管することで、災害時でもすぐに取り出し使用することができます。

公益社団法人日本オストミー協会前田勝熊まへだまさる熊本県支部長は、「益城町をモデル地区として県内に波及させたい」と述べました。

地区の活性化にも貢献しています

宝くじ助成事業で堂園公民館の備品を整備

熊本地震で被災し建て替えた堂園公民館に、コミュニティ助成事業によりエアコンや机などが整備されました。

コミュニティ助成事業は、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として受託事業収入を財源に行っているもので、コミュニティ活動に必要な備品整備などに対して助成を行い、コミュニティの健全な発展を図ることを目的としています。

公民館の備品が充実したことにより、堂園地区でのコミュニティ活動がますます活性化すると期待されます。



助成事業により整備された折り畳み式の机や椅子などの備品

Best Smile
今月のベスト笑顔

